

活力のある村づくり



3つ目の柱として、地域経済の活性化と生活基盤の充実を目指し、「活力のある村づくり」に、農林業・商業・工業・雇用・観光の各分野で、村の特性を活かした施策を展開してきました。

まず農林業の振興では、兼業農家が増える中、水稲や園芸作物、果樹、花卉、肉牛繁殖など多様な経営形態が展開されています。一方で高齢化や後継者不

足、風評被害などの課題に対して、認定農業者制度や集落営農組織の育成を進め、多面的機能発揮促進事業を活用した農村環境保全、農地集積や新技術導入による経営効率化を推進してきました。加えて、農畜産物のブランド化や6次産業化により、地域農業の持続的発展を図っています。林業分野では、ふくしま森林再生事業による間伐・下草刈り・松林保全などを実施し、森林の多面的機能の維持と放射性物質対策を両立させています。

商業では、店主の高齢化や人口減少による売上減少といった課題に対応するため、商工会と連携し、既存事業者支援や新規創業者育成を推進。移動販売やチャレンジショップ、キッチンカー活用などの取り組みにより、地域経済の活性化を図ってきました。

工業分野では、企業誘致の推進や既存企業の支援に努め、立地環境整備や支援制度の充実を進めました。さらに、雇用・勤労者対策として求人・求職のマッチングを支援するとともに、サテライトオフィス誘致やコワーキングスペース整備を通じて、村内就労と働きやすい環境づくりを両立しています。

観光振興では、乙字ヶ滝や東野の清流、大寺城跡公園などの自然景勝地、東福寺舍利石塔や南須釜の念仏踊りといった文化資源を活かし、環境整備や地域団体との連携を進めてきました。さらに、旧四辻分校を活用した「たまかわ観光交流施設森の駅yodoge（ヨッジ）」を拠点に、農業体験・自然



に、サテライトオフィス誘致やコワーキングスペース整備を通じて、村内就労と働きやすい環境づくりを両立しています。





体験・食体験などの着地型観光を展開。都市部からの来訪者と地域の交流を深めています。SNSやホームページを活用した情報発信、名産品開発、観光ルート設定などの取組を通じて、通過型から滞在型観光への転換を目指し、地域の賑わい創出を進めています。

これらの施策は、村民と行政が一体となり、地域資源を最大限に活かしながら取り組んできた成果です。今後、玉川村は、農林業の発展、商工業の振興、雇用の確保、観光資源の活用を通じて、持続可能で活力ある村づくりを推進していきます。



主 要 事 業

① 農業振興・6次産業化推進事業

認定農業者や営農組織を中心に、地域の特性を生かした高品質な農産物の生産やブランド化を推進。加工・販売・観光を組み合わせた6次産業化を進め、農業の収益向上と地域経済の自立を図る。

② 商工業・企業支援事業

商工会や事業者と連携し、既存店舗の活性化や新規創業者への支援を実施。村内外企業の誘致やサテライトオフィス整備を進め、働く場の確保と地域雇用の創出を目指す。

③ 観光拠点整備・着地型観光推進事業

旧四辻分校を活用した「たまかわ観光交流施設森の駅 yodge(ヨッジ)」を拠点に、農業体験や自然体験、地域の食を生かした滞在型観光を展開。村民と来訪者が交流できる体験プログラムの充実により、観光による交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。

④ 水辺環境活用・かわまちづくり推進事業

阿武隈川の豊かな自然を活かし、「玉川村複合型水辺施設乙な駅たまかわ」や中池公園などを拠点とした「かわまちづくり」を推進。地域団体や企業と連携したイベントやレジャー活動を通じて、村内外からの来訪促進と地域交流の拡大を進める。

⑤ 地域資源活用・文化振興事業

乙字ヶ滝や大寺城跡、南須釜の念仏踊りなど、歴史・文化資源の保存と活用を推進。地域行事や伝統芸能の継承を支援し、村民の誇りと絆を育むとともに、観光資源としての魅力向上を図る。